

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 防災・安全交付金(効果促進事業), 京都府木造住宅耐震改修等事業費補助

計画に記載している内容 京町家の耐震改修工事費用の助成。【頁7-32】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

京町家等の耐震化を促進するため、土壁の補修や屋根の軽量化など、耐震性が確実に向上する工事について、その費用の一部を補助した。
 ・耐震改修工事費用の助成:(平成29年度)全体で680件(うち京町家158件)

【歴史的風致・基本方針との関係】京町家等は<ハレとケのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素であり、全ての歴史的風致の基盤を支える要素でもある。これらの京町家等を住まいとして継承するために必要な取組であり、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	京町家の更なる耐震化の促進のため、全市的な普及啓発を展開する。
--	---------------------------------

状況を示す写真や資料等

- (事業概要)
- ・耐震性が確実に向上する工事をあらかじめメニュー化することにより、分かりやすく手続きが簡単で費用負担が少ない耐震改修補助制度。
- (補助対象建築物の主な要件)
- ・昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅(京町家を含む)
 - ・一戸建ての住宅、長屋、又は共同住宅(居住部分の床面積が延べ面積の1/2以上のもの)
- (施工業者の要件)
- ・本市の区域内に本店又は主たる事務所を置いている者(個人の事業者を含む。)であること。(下請負人が市内事業者である場合も可能。)
- (対象となる工事のメニュー)
- ・建築物の健全化
 - 根継ぎ等による土台又は柱等の劣化、蟻害の修繕
 - 水平方向、垂直方向等の歪みの補正(1/100以内に補正するもの)
 - 礎石等の基礎の補修
 - 土壁の修繕(中塗りまで落として塗り直すもの) 又は新設
 - ・屋根の軽量化
 - ・床面等の強化
 - 屋根構面又は2階床組若しくは小屋組の水平構面の強化・補修
 - 柱脚部への足固め、根がらみの設置
 - シェルターの設置
 - ・付帯工事
 - 外壁等の劣化部分の修繕
 - 土管の撤去
 - 防蟻処理
- (補助額)
- ・メニューに該当する工事に要する費用の90%。メニューごとに補助限度額有。
 - ・複数のメニューを組み合わせ、最大で60万円まで補助。



メニュー 屋根の軽量化 耐震改修工事状況

評価軸③-22
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
京町家改修助成事業(京町家まちづくりファンド)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 京町家改修助成事業:平成23年度～

支援事業名 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンターが実施

計画に記載している内容 景観形成に寄与する京町家の改修工事等への助成。【頁7-33】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・京町家まちづくりファンド視察会(9月6日開催)及び京町家まちづくりファンド委員会(9月8日開催)での審査を経て、5件の京町家を助成対象として選定(後に1件選定辞退)
・平成28年度選定の2件及び平成29年度選定の1件の京町家改修工事に助成

【歴史的風致・基本方針との関係】京町家等は<ハレとケのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素であり、全ての歴史的風致の基盤を支える要素でもある。これらの京町家等を住まいとして継承するために必要な取組であり、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	支出(助成額)と収入(寄附金等)の均衡による継続的な事業実施が課題であり、寄附拡大のため、新たな寄附受入方法の検討、寄附付き商品の開発及び個人・法人による寄附の拡大に取り組んだ。

状況を示す写真や資料等

京町家まちづくりファンド 改修事例



井山邸 改修前

➔



井山邸 改修後



中川邸 改修前

➔



中川邸 改修後



石田邸 改修前



石田邸 改修後

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
京町家まちづくりクラウドファンディング支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～		
支援事業名	公益財団法人京都市景観・まちづくりセンターが実施		
計画に記載している内容	事業者と投資家をインターネット上で結びつけ、多数の投資家から少額ずつ資金を集める「クラウドファンディング」の仕組みを活用し京町家の改修を推進する。【頁7～33】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成29年度は申請件数0件であった。			
【歴史的風致・基本方針との関係】京町家等は<ハレとケのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素であり、全ての歴史的風致の基盤を支える要素でもある。これらの京町家等を住まいとして継承するために必要な取組であり、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		平成29年度は想定する募集件数5件に対し、応募件数が0件であった。 課題として、投資型のクラウドファンディングについては、ランニングコストが高額であり、現状、金融機関から事業資金を調達した場合の金利負担の方が安くなるといったことがあげられる。 そのため、平成30年度は、事業に対するファン作りに寄与するなどの投資型のクラウドファンディングのメリットについて、改めて事業者に周知を行う。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
空き家対策推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～

支援事業名 防災・安全交付金(地域住宅計画に基づく事業(提案事業))

計画に記載している内容 「空き家の発生の予防」、「空き家の活用」、「空き家の適正な管理」、「跡地の活用」を目的とする各種施策により、空き家対策を総合的に推進する。【頁7-36】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(平成29年度3月末時点実績(地域の空き家相談員を除く))

・空き家活用・流通支援等補助金 うち、活用・流通促進タイプ 特定目的活用支援タイプ	65件補助 23件補助 42件補助	} 67件の空き家が 活用された。
・「空き家活用×まちづくり」モデル・プロジェクト	2件実施(2件とも28年度から継続実施)	
・地域主体の空き家対策	(累計)80地域	
・空き家活用・流通支援専門家派遣制度	61件派遣	
・地域の空き家相談員	259名登録	

【歴史的風致・基本方針との関係】京町家をはじめとする住宅ストックの継承を図ることにより、良好な生活環境や景観の保全、地域コミュニティやまちの活力の向上につながり、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	権利関係が複雑化していることが原因で、空き家の活用等が進まない場合がある。

状況を示す写真や資料等



空き家活用×まちづくりモデルプロジェクトに採択されたわらしべの家プロジェクト(改修前)



地域連携型空き家対策促進事業



空き家活用×まちづくりモデルプロジェクトに採択されたわらしべの家プロジェクト(改修後)



地域連携型空き家対策促進事業 地域の活動まとめ資料

評価軸③-25
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度
		現在の状況
屋外広告物適正化推進事業, 広告景観づくりデザイン助成事業, 屋外広告物の簡易除却		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 京都市屋外広告物等に関する条例により, 広告物に対する規制を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

□屋外広告物に関する平成29年度の取組
 京都にふさわしい広告景観を形成するため, 平成24年度から屋外広告物対策を抜本的に強化し, 屋外広告物制度の定着促進, 是正のための指導の強化と支援策の充実, 京都にふさわしい広告物の普及促進を3つの柱として取り組んできた結果, 取組前, 市内に表示される屋外広告物の約7割が違反状態にあったものが, 平成30年3月末時点では, 約96%の屋外広告物が条例の趣旨に沿った適正な表示となった。
 ①景観支障のある案件の解消(更なる適正化の取組)の推進
 平成29年度も, 行政代執行を視野に入れて引き続き適正化に向けた取組を推進したところ, 残る景観支障のある屋外広告物は, 経過措置期間が終了した平成26年8月末に判明していた約9,000件から, 平成30年3月末時点では約1,800件まで減少し, 中でも, 景観支障が大きなものは, 約2,100件から約130件に激減している。
 ②京都にふさわしい広告景観を創出する屋外広告物の普及・誘導
 本市では, 平成19年度から, 広告景観の向上に寄与する, 優良なデザインの屋外広告物を設置する者に対し, 設置費用等の一部を補助する「京都市優良屋外広告物補助金交付制度」を実施している。さらに, 平成28年度からは, 京都にふさわしい広告景観の形成に有効な和風の素材を用いた広告物である「のれん, ちょうちん」に対する補助を拡充した。平成29年度からは, 前年度の実績状況を踏まえ, のれん・ちょうちんに対する補助について, より多くの事業者を利用していただけるよう補助上限額を見直すなどの改正を行った。平成29年度は74件に対して補助金の交付を行った。

【歴史的風致・基本方針との関係】 京都の優れた景観を保全・再生するための屋外広告物規制を推進していくことにより, 歴史的建造物を取り巻く町並みの整備が進み, 歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■ 平成29年度京都にふさわしい屋外広告物に対する補助事例



割烹 吉膳



松太郎



京華宿



心心苑

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
官民地域連携エリアマネジメント組織の運営・事業推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成23年度～
支援事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・H23 都市環境改善支援事業(国土交通省) ・H24 民間まちづくり活動促進事業(国土交通省) ・H24～27 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(国土交通省) ・H28～地方創生推進交付金(内閣府)
計画に記載している内容	「岡崎地域活性化ビジョン」の推進のための官民地域連携のエリアマネジメント協議会による魅力創出事業、情報発信等。 【頁7～42】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

エリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、多くの市民・関係者の連携の下で岡崎地域の資源を活かした魅力創出事業や総合的な案内・情報発信に取り組んでいる。

(魅力創出事業)

- ・「桜」と「琵琶湖疏水」の2大観光資源を活用した「岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり」の開催。
- ・夏の星空の下で夕涼みをしながら楽しんでいただけるよう、周辺施設・店舗等が協力、連携し、光、音楽、グルメによる岡崎の新たな夜の魅力を演出する「岡崎プロムナード 星の饗宴」の開催し、「京の七夕」と連携。
- ・岡崎エリアにおいて昼夜にわたる賑わいを創出するイベント「京都岡崎ハレ舞台」は、「東アジア文化都市2017京都」と連携して開催することで、相乗効果による大きな賑わいの創出を図り、「京都岡崎レッドカーペット」、「日・中・韓 グルメ回廊」、「岡崎ときあかり」及び「京都国際マンガ・アニメフェア」を同時開催。

(総合的な案内・情報発信)

- ・岡崎の総合情報パンフレット「岡崎手帖」(秋号・春号)の発行
- ・「岡崎手帖 別冊」岡崎グルメガイドの発行
- ・「地図で読む京都・岡崎年代史」の一部内容を改訂し、増刷を実施
- ・岡崎の総合情報サイト「京都岡崎コンシェルジュ」の運用
- ・岡崎の地域ガイド拠点「岡崎・市電コンシェルジュ」の運用 等

【歴史的風致・基本方針との関係】京都の近代化を牽引した岡崎は、<伝統と進取の気風の地>の歴史的風致を形成しており、その地域の活性化の取組を行うことにより、地域力を活用しながら、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「岡崎プロムナード 星の饗宴」をはじめ、岡崎公園、動物園、ロームシアター京都やみやこめっせ等の文化・交流施設等が連動・連携した取組、更には、地域での取組とも連動する中でイベントを開催する等、今後も、岡崎地域が一体となり、多彩な事業を展開することにより夜の賑わいを中心に取組を進めていく。

状況を示す写真や資料等

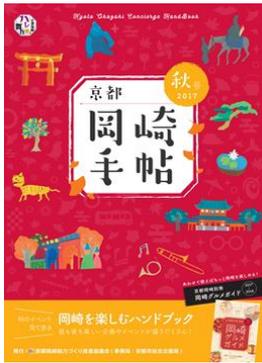


・京都岡崎レッドカーペット



・岡崎ときあかり

京都岡崎ハレ舞台
(平成29年9月16日(土)～17日(日))



岡崎の総合情報パンフレット「岡崎手帖」の発行
秋号(平成29年9月)／春号(平成30年3月)



「岡崎手帖 別冊」岡崎グルメガイドの発行
(平成29年9月)



岡崎の地域ガイド拠点「岡崎・市電コンシェル
ジュ」の運用



「地図で読む京都・岡崎年代史」
一部内容の改訂・増刷



岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり
(ライトアップ:平成30年3月30日～4月10日
十石舟運航:平成30年3月24日～5月6日)

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
京都岡崎地区都市再生整備計画事業 (京都市美術館再整備事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 80年を超える歴史を持つ京都市美術館について、建物の風格を失うことなく再整備を行う。【頁7-44】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下記に基づき、平成28年3月、「京都市美術館再整備工事 基本設計」をとりまとめた。

- ・本館に加え、新館を建設し、京都の新たなシンボルとなる美術館を目指す。
- ・豊富なコレクションに加え、現代芸術の「今」を発信する日本を代表する複合型美術館としての魅力を高める。
- ・岡崎地域のポテンシャルを活かしつつ、ギャラリー・アメニティ機能の向上により、日本有数の集客力がある美術館を目指す。

平成29年1月、京都市美術館再整備工事落札者決定
 平成29年3月、京都市美術館再整備工事請負契約締結
 京都市美術館再整備工事実施設計着手
 平成29年12月、京都市美術館再整備工事実施設計とりまとめ
 平成30年1月、京都市美術館再整備工事本工事着工

【歴史的風致・基本方針との関係】京都の近代化を牽引した岡崎は、<伝統と進取の気風の地>の歴史的風致を形成しており、その地域の活性化の取組を行うことにより、地域力を活用しながら、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



京都市美術館再整備事業の南東鳥瞰図

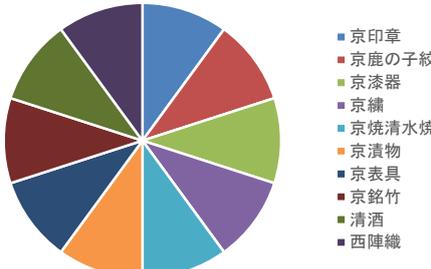


京都市美術館再整備後の北西鳥瞰図

評価軸③-28 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
京都・花灯路		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	京都・花灯路事業 (京都府, 京都市, 京都商工会議所, 京都仏教会, 京都市観光協会, 京都文化交流コンベンションビューローで構成される京都・花灯路推進協議会で実施)		
計画に記載している内容	京都を代表する歴史的文化遺産や町並み等を情緒豊かな露地行灯等をつなぎ、京都ならではの雅を醸し出す。【頁7-47】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>京都・嵐山花灯路ー2017(平成29年12月8日(金)～12月17日(日)) 【主な事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ロームが灯す「灯りと花の路」 日本情緒豊かな陰影のあるLED電球を使用した露地行灯の「灯り」とボリューム感のあるいけばな作品の「花」で演出した、思わず歩きたくなる路の創出。 2 渡月橋周辺のライトアップ 渡月橋と山裾、水辺など周辺をライトアップし、雄大で美しい夜の自然景観を演出。 3 竹林の小径のライトアップ 野宮神社から大河内山荘庭園に至る散策路両側の竹林をライトアップし、真上に広がる幻想的な情景を演出。 4 京都いけばな協会「いけばなプロムナード」 京都いけばな協会の協力により、灯りと花の路沿いに大型花器によるボリューム感のあるいけばな作品を展示。 【来場者数】1, 142, 000人 <p>京都・東山花灯路ー2018(平成30年3月9日(金)～3月18日(日)) 【主な事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ロームが灯す「灯りと花の路」 日本情緒豊かな陰影のあるLED電球を使用した露地行灯の「灯り」とボリューム感のあるいけばな作品の「花」で演出した、思わず歩きたくなる路の創出。 2 京都いけばな協会「いけばなプロムナード」 京都いけばな協会の協力により、灯りと花の路沿いに大型花器によるボリューム感のあるいけばな作品を展示。 3 京都いけばな協会「現代いけばな展」 円山公園を会場に、京都いけばな協会の協力による壮大な華の競演を実施。 4 「火の用心・お囃子組」 地元の学童が火の用心をテーマにしたわらべ歌を唄い、拍子木、鉦、太鼓を交えたお囃子を奏でながら、「灯りと花の路」を練り歩く。 5 舞妓による奉納舞踊 五花街の舞妓が八坂神社にて舞踊の奉納を実施。 【来場者数】1, 010, 000人 			
【歴史的風致・基本方針との関係】寺社が多く存在し、<祈りと信仰のまち京都>の歴史的風致を形成している地域で行われる当取組により、歴史的風致を再認識する機会となり、歴史的建造物を守り育て、活かしたまちづくりが推進される。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">渡月橋と山裾のライトアップ</p>		 <p style="text-align: center;">法観寺のライトアップ</p>	
京都・嵐山花灯路ー2017 (平成29年12月8日(金)～12月17日(日))		京都・東山花灯路ー2018 (平成30年3月9日(金)～3月18日(日))	

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間 平成22年度～			
支援事業名 市単独事業			
計画に記載している内容	伝統産業業界において中核を担いつつある中堅技術者の意欲向上に資する京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度を実施。【頁7-48】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
□7/3～8/31 公募 □10/5 過去の認定者による交流会開催 □10/6～10/24 工房調査を実施(申請者16名) □12/5 申請者によるプレゼン審査(京都市伝統産業活性化推進審議会審査選考部会) □12/19 認定式(市長出席/京都ホテルオークラ) 10業種10名を認定。 □2/10, 13～15 「未来の名匠」技の披露展(東京会場)開催 場所:銀座グランドホテル(10日), 京都館(13～15日) □3/17～31 「未来の名匠」技の披露展(京都会場)開催中 場所:京都駅ビル インフォメーション前(展示/30日まで)/京都茶寮(販売/31日まで)			
【歴史的風致・基本方針との関係】<ものづくり・商い・もてなしのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素である伝統産業を支える技術者を育成・表彰し、技術や関係業界の振興・発展・継承に努めることは、歴史的風致の維持向上に大きく寄与し、伝統産業を活かしたまちづくりが推進される。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>平成29年度「未来の名匠」認定業種</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■京印章 ■京鹿の子絞 ■京漆器 ■京織 ■京焼清水焼 ■京漬物 ■京表具 ■京銘竹 ■清酒 ■西陣織 			
 <p>審査選考部会</p>		 <p>技の披露展(東京会場)</p>	
 <p>認定式</p>		 <p>技の披露展(京都会場)</p>	

評価軸③-30 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
京もの国内市場開拓事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	首都圏において、京都のまちなちの魅力や伝統文化を紹介するとともに、和装・工芸が一体となった京都の伝統産業PR展示会を行い、新たな需要を開拓する。【頁7～49】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<<「京都知恵産業フェア2018」>> 1 日程等 日 時:平成30年2月22日(木)～23日(金) 2日間 会 場:渋谷ヒカリエ(東京都渋谷区渋谷2-21-1) 2 内 容:展示商談会 ※平成27年度から市・府・京都商工会議所で実施する事業に変更			
【歴史的風致・基本方針との関係】<ものづくり・商い・もてなしのまち京都>の歴史的風致の重要な構成要素である伝統産業を、広くPRする取組により、これらの歴史的風致の維持向上に大きく寄与し、伝統産業を活かしたまちづくりが推進される。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">京都知恵産業フェア2018</div> 			